

■殺菌剤：農業用

有機硫黄系

グリーンペンコゼブ®水和剤

登録番号 : 22582
 毒性 : —
 消防法 : —
 有効年限 : 2年(10kg包装)
 3年(他包装)

成分 マンゼブ……80.0%
 物理的・化学的性状 淡黄緑色水和性粉末45 μ m以下

包装 : 1kg×20 2kg×10 10kg×1

◆特 長

○予防効果が高く、付着性、耐雨性に優れていますので、安定した防除効果が期待できます。

◆適用と使用方法

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	マンゼブを 含む農薬の 総使用回数			
す い か	炭疽病	400~600倍	100~300 ℓ /10 a	収穫7日前まで	7回以内	散布	7回以内			
	つる枯病									
	褐色腐敗病	600倍								
メ ロ ン	つる枯病 べと病	400~600倍			5回以内			5回以内		
き ゆ う り	炭疽病	600倍			収穫前日まで		3回以内		3回以内	
	褐斑病 黒星病									
	べと病	600~800倍								
キャベツ	べと病	400~600倍			収穫30日前まで					
ね ぎ	べと病	600倍			収穫14日前まで					
	黒斑病 さび病									
たまねぎ	べと病	400~600倍		収穫3日前まで	5回以内		5回以内			
	黒斑病 灰色かび病									
はくさい	べと病	600倍		収穫30日前まで	1回		1回			
	黒斑病 白斑病									
アスパラガス (露地栽培)	斑点病 茎枯病	500倍		収穫終了後 但し、秋期まで	6回以内		6回以内			
かぼちゃ	べと病 疫病	600倍		収穫21日前まで	2回以内		2回以内			
ばれいしょ	夏疫病	400~600倍		収穫7日前まで	10回以内		10回以内 (無人ヘリ散布 は3回以内)			
	疫病									
	疫病	100倍	25 ℓ / 10 a							

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	マンゼブを 含む農薬の 総使用回数
だ い ず	べと病	400倍	100～200ℓ ／10a	収穫45日前まで	3回以内	散布	3回以内
あ ず き	さび病		100～300ℓ ／10a	収穫30日前まで			
て ん さい	褐斑病	400～600倍	／10a	収穫21日前まで	5回以内		5回以内
		125倍	25ℓ／10a				

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2)てんさいに対して希釈倍数125倍、ばれいしょに対して希釈倍数100倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用すること。
- (3)石灰硫黄剤、ボルドー液との混用は避けること。
- (4)ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生ずるおそれがあるので避けること。
- (5)蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (6)極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に薬害のでるおそれがあるので注意すること。
- (7)散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- (8)取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1)本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (2)散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3)作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4)かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (5)夏期高温時の使用を避けること。

◆魚毒性

- (1)水産動植物（藻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2)使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。